

会長： 宮嶋誠一郎
直前会長： 西村 正司
会長エレクト： 上田健一郎
副会長： 安田 勉
幹事： 伊勢田雅人
会計： 樋口 英彰
S A A： 法村 賢仁

クラブ会員担当理事
公共イメージ担当理事：
クラブ管理運営担当理事：
奉仕プロジェクト担当理事：
財団・奨学金担当理事：

橋川 高治
杉原 祥浩
田川 正人
川地 友規
池田 定夫

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

RI会長 シェカール・メータ

「活力と輝き」-ロータリーの基本を大切に-

RI2650地区ガバナー 馬場 益弘

「Be a rival.よき友であろう。」

彦根南ロータリークラブ会長 宮嶋誠一郎



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

NO.21 2022年 4月 5日 (TUE)

第2022回例会

Vol.45



Rotary
第2650地区

彦根南ロータリークラブ

本日のプログラム

親睦活動委員会担当

花見例会: 「春はあけぼの花いっぱい」多賀 (株) 監査役 中川信子様

『花見例会』にあたって



会長 宮嶋誠一郎

本日は恒例の『花見例会』へのご参加、ありがとうございます。とはいえ、コロナがまだ収束せず、毎日県内で数百人、彦根市内でも数十人の新規感染者が出ている状況のため、お昼の開催となりましたこと、たいへん残念かつ申し訳なく思っております。「百杯のお茶より一杯の酒」を少しでも早く一緒できることを祈るばかりです。

さて、皆さんはこの漢詩をご存知でしょうか？

「年年歳歳花相似 歳歳年年人不同」

(ねんねんさいさいはなあいにたり さいさいねんねんひとおなじからず)
これは1300年以上前の中国の唐代の詩人、劉希夷の詩で「花は毎年決まった季節に同じように咲くが、人は年々変わってゆくものだなあ」と自然の悠久さと人生の儚さを詠ったものです。でも私は、この詩をこんな風に前向きにとらえています。「人の命は永遠ではない。でもいいこともたくさんある。毎年少しずつ経験を重ねながら思い出をつくり、人生いい味を出していこう。」そんなことを思いながら、今日も彦根城の美しい桜の花を愛でたいと思います。



「撮影：多賀 (株) 中川信子様 (本日の講師)」

プログラム

開会点鐘
ロータリーソング
「君が代」
「奉仕の理想」
ゲスト紹介
会長の時間
各種お祝い
幹事報告
委員会報告
S A Aの時間
出席報告
例会タイム
閉会点鐘

4月 12日プログラム

「松下幸之助に学ぶ 人材育成の要諦」
プログラム委員会担当

4月 19日プログラム

「日本酒の魅力、再発見！」
職業分類委員会担当

認 証
例会日
例会場

1978年6月15日
毎週火曜日 12:30~13:30
ビバシティホール
〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43-1

事務局 〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町160-4
TEL 0749-23-2102 FAX 0749-23-2108
U R L http://hikoneminami-rc.com
E-mail minamirc@oregano.ocn.ne.jp

前回例会報告



第2021回例会は、3月15日12時よりZOOMを利用したオンラインで開催されました。宮嶋会長の開会点鐘で始まり、久米君のソングリーダーで「それでこそロータリー」を斉唱しました。員会報告と続き、SAAの時間、法村SAAからニコニコが披露されました。



例会タイムでは、初めに伊勢田幹事より5月15日に予定されている「佐藤ママの子育て&受験セミナー」の開催に至った経緯の説明があり、その後、尾崎君より事業について開催場所や日程、内容、タイムスケジュールなど詳しい説明がありました。延期になっていましたが、今年度のメイン事業になります。次代を担う子ども達も日本語に親しみ、素晴らしい文化を引継いでいるので、メンバー皆様のご協力よろしくお願いします。



「世界の貧困と飢餓の現状を知る授業」完了報告

国際奉仕委員長 大塚恵昭

3月16日の11時10分から正午まで、日本ユニセフ協会からLIVE配信で彦根市と愛荘町にあるすべての7つの高校の1年生の生徒さんに特別授業を受けてもらいました。11時10分になって教室の黒板に用意されたスクリーンにユニセフの鈴木さん（女性）が映り出し「みなさん、こんにちは・・・」とあいさつが始まるまでの時間はジョン・レノンの「IMAGINE」が流れていました。なんと素晴らしい演出だなあと感心しました。

さて授業では、ロシアとウクライナの戦争にも触れられました。ロシアとウクライナの小麦の出荷が止まれば世界の小麦相場が急騰し、貧困で苦しんでいる人がいよいよパンを食べられなくなり深刻度が増してくるとのこと。

因みに、16,000万人の子どもは食べるために労働を強いられています。

14,400万人の子どもは上水道がない生活で川や水たまりの水を飲んでいきます。

5,900万人の子どもは学校に行けません。教育を受けられないので就職ができず次の代まで貧困が続きます。14,900万人の子どもは栄養失調です。そして、毎年5歳以下の子どもが520万人亡くなっています。

この子どもたちにはもちろんテレビもパソコンもないので、私たちのように恵まれた（普通の）生活をしている人たちがこの世にいらざらぬのでしょ。胸が苦しくなります。

この子たちにはもちろんテレビもパソコンもないので、私たちのように恵まれた（普通の）生活をしている人たちがこの世にいらざらぬのでしょ。胸が苦しくなります。



ニコニコ箱 計11,000円 総計 1,286,000円

- ◇本日は5/15の佐藤ママの事業の説明宜しくお願いします。明日のユニセフセミナーもありがとうございます…宮嶋君
- ◇社会奉仕プロジェクト事業説明会、尾崎君宜しくお願いします…伊勢田君
- ◇先日の合同ゴルフコンペでドラゴン賞を頂きました。チームには貢献できませんでしたが…田川君
- ◇末っ子長男が京都大学に合格しました。子ども3人国公立大学に進学できました…青山君

下敷き贈呈式

3月28日14時より、彦根市役所にて「彦根教育学びの提言」下敷きの贈呈式が執り行われました。彦根市教育委員会からは西嶋良年教育長、広瀬清隆教育部長、宮崎良雄学校教育課長、加藤由紀副主幹が出席され、当クラブからは宮嶋会長、伊勢田幹事、尾崎会報雑誌委員長が出席しました。

贈呈式は、まずそれぞれ自己紹介をした後、宮嶋会長が挨拶に立たれ「下敷きの内容にある井伊直弼公は、今日の日本を築いたといっても過言ではない人物。彦根市の宝である児童の皆さんが歴史に触れ、多くの学びを得られることを楽しみにしております」と贈呈に込めた想いを語られ、寄贈目録を西嶋教育長に手渡されました。西嶋教育長からは「昨年度に引き続き、児童のためになる下敷きを寄贈いただきありがとうございます。4月の入学式に新入児童全員に配布します。この提言では子ども向けメッセージとともに保護者の皆様へのメッセージも策定しており、ご家庭や地域とともに、彦根の宝を育てていきたいと思っております」と感謝の言葉を述べられました。

最後に彦根市教育委員会から宮嶋会長へ感謝状が贈られ閉会となりました。

出席報告

	会員数	当日出席	Make-Up	出席率
3月15日	58(5)	21(0)	32	100%
3月 8日	58(5)	36(1)	19	100%

【ソングリーダー】 ◎諸川 穰

(随時ご指名させていただきます)

【会報雑誌委員会】委員長： 尾崎 雄 松田 剛 梅田満壽雄 毛利聖紀 西澤 稔